

Salesforce-Pardot コネクター v2 実装ガイド

Salesforce, Spring '21



本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。

© Copyright 2000–2020 salesforce.com, inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、salesforce.com, inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載されたその他の商標は、各社に所有権があります。

目次

2019 年 2 月 11 日以降に購入されたアカウントの Salesforce-Pardot 接続の設定	1
Salesforce-Pardot コネクターの使用に関する考慮事項	2
同じメールアドレスで複数のプロスペクトを作成できるアカウント向けの考慮事項	3
同期方法の選択	4
Pardot インテグレーションユーザー	4
コネクターユーザーを設定する	5
ステップ 1: パッケージをインストールして Pardot を有効化する	7
Pardot AppExchange アプリケーションのインストール	8
Salesforce で Pardot を有効にする	8
Pardot で Salesforce-Pardot コネクター (コネクター v2) を設定および一時停止解除する	8
ステップ 2: Salesforce-Pardot コネクターに関する Salesforce の設定を行う	9
取引先責任者項目への Pardot のカスタムリード項目のマッピング	10
Salesforce での Pardot データの表示	10
Salesforce ページレイアウトへのカスタム Pardot ボタンの追加	11
Salesforce への Pardot 標準アクションの追加	11
ページレイアウトへのスコアリングカテゴリのスコアの追加	12
Salesforce で Pardot データへのアクセス権をユーザーに付与	12
ステップ 3: Pardot を設定する	12
Salesforce と Pardot のカスタム項目のマッピング	13
Pardot と Salesforce ユーザーの接続	14
Salesforce-Pardot コネクターのテスト	18
プロスペクトの初回同期のトリガー	19

2019 年 2 月 11 日以降に購入されたアカウントの Salesforce-Pardot 接続の設定

2019 年 2 月 11 日以降に購入された Pardot アカウントの場合、Pardot をインストールおよび有効化できるのは Salesforce 内の Salesforce システム管理者のみです。設定を完了するには、Salesforce システム管理者が Pardot アカウントを設定できる Pardot 管理者を任命します。Pardot 管理者は Salesforce システム管理者である必要はありません。Pardot を有効化して管理者アカウントを設定する前に、次の前提条件を確認してください。

 **ヒント:** この手順の PDF バージョンをダウンロードすると便利です。

- Pardot を有効化する前に、Pardot 管理者として指定するユーザーに Pardot Lightning アプリケーションへのアクセス権を付与します。システム管理者はこの Lightning アプリケーションから Pardot を設定します。詳細は、「[Lightning Experience の Pardot](#)」を参照してください。
- Pardot を有効化すると、指定された Pardot 管理者に次の手順を知らせるメールが送られます。通常は、メールの受信まで数分かかります。

Salesforce-Pardot コネクターの使用に関する考慮事項

Salesforce-Pardot コネクター (v1) を設定する前、またはコネクター (v2) を一時停止解除する前に、項目とプロスペクトの同期、ユーザーのマッピング、他の設定タスクなど、以下の考慮事項を確認してください。

同じメールアドレスで複数のプロスペクトを作成できるアカウント向けの考慮事項

Salesforce の同期で最も重要なことは、Pardot のプロスペクトと Salesforce のリード、取引先責任者、個人取引先の関係を 1 対 1 に対応付けることです。メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しているアカウントでは、Salesforce コネクターは双方向同期の一致条件として CRM ID を使用します。

同期方法の選択

インテグレーションユーザーがコネクターユーザーとして設定されている場合、コネクターは Pardot と Salesforce の間で同期されるオブジェクトのすべてのレコードを同期します。レコードの一部を同期したい場合は、マーケティングデータ共有を使用して同期するレコードを選択します。含まれるインテグレーションユーザーを使用するか、独自のコネクターユーザーを設定してください。

ステップ 1: パッケージをインストールして Pardot を有効化する

Salesforce と Pardot はプロスペクトおよび商談データを共有します。Salesforce システム管理者は Pardot AppExchange パッケージをインストールできます。2019 年 2 月 11 日以降に Pardot を購入した場合、パッケージは Salesforce から有効化してください。

ステップ 2: Salesforce-Pardot コネクターに関する Salesforce の設定を行う

設定中に Salesforce システム管理者は、カスタム項目のマッピング、ページレイアウトへの Pardot コンポーネントの追加、ユーザーへの Pardot データアクセス権の付与ができます。

ステップ 3: Pardot を設定する

Pardot 管理者は、カスタム項目とユーザーのマッピング、コネクターのテスト、プロスペクトの初回同期を行うことができます。

Salesforce-Pardot コネクターの使用に関する考慮事項

Salesforce-Pardot コネクター (v1) を設定する前、またはコネクター (v2) を一時停止解除する前に、項目とプロスペクトの同期、ユーザーのマッピング、他の設定タスクなど、以下の考慮事項を確認してください。

全般

- Pardot 内で 1 つの Salesforce コネクターのみを持つことができます。
- Salesforce 組織でクリックジャック保護が有効になっている場合、Salesforce で Pardot のデータを表示するには、クリックジャック保護と互換性のある Visualforce ページを追加します。
- Pardot は Salesforce の個人取引先レコード種別と統合可能です。個人取引先の同期を有効にするには、Pardot サポートにお問い合わせください。
- Pardot にプロスペクトをインポートすると、プロスペクトは Salesforce と同期されます。未割り当てのプロスペクトは Salesforce と同期しますが、一致するメールアドレスがない場合、レコードは作成されません。
- Pardot は Salesforce 内および Pardot 内の変更を最大で 2 分に 1 回チェックします。同期時間が長い場合は、Pardot サポートまでお問い合わせください。大量のレコードを同時に更新する場合、すべての変更の同期が完了するまで時間がかかることがあります。

コネクターバージョン: 2

コネクターバージョン 2 を使用する場合、次の事項が適用されます。

- Pardot アカウントのプロビジョニング時には、コネクターは一時停止状態で作成されます。コネクターを一時停止解除する前に、設定を確認し、マーケティングデータ共有を使用する場合は設定してください。コネクターが一時停止解除されるまで、レコードは同期されません。プロスペクトは、プロスペクトレコードの [CRM と同期] またはリードまたは取引先責任者レコードの [Pardot に送信] を使用して手動で同期できます。
- インテグレーションユーザーは、Salesforce と Pardot 間で同期できるすべてのレコードにアクセスできます。共有されるレコードを制御するには、マーケティングデータ共有を設定してください。マーケティングデータ共有を使用する場合は、コネクターユーザーを目的の権限を持つユーザーに変更することができます。詳細は、「[Pardot インテグレーションユーザー](#)」を参照してください。
- 複数の Pardot アカウントを 1 つの Salesforce 取引先にリンクする場合、マーケティングデータ共有も併用していない限り、インテグレーションユーザーを使用することはできません。

Salesforce と Pardot の項目の同期

- プロスペクト項目が Salesforce で更新されると、その項目に関連するルールが存在する場合に Pardot オートメーションルールがトリガーされる可能性があります。
- Pardot でユーザーに割り当てられているプロスペクトは、Salesforce のレコードと同期していない場合、リードとして作成されます。

Salesforce ユーザーへの Pardot ユーザーのマッピング

同期前に、プロスペクトが割り当てられている Pardot ユーザーを Salesforce ユーザーにマッピングします。プロスペクトの割り当て済みユーザーが Salesforce ユーザーにマッピングされていない場合、プロスペクトは Salesforce コネクタユーザーに割り当てられます。

プロスペクトの同期

- Pardot は会社レベルではなく個人レベルで同期します。
- Pardot は CRM ID に従って同期します。同期を行うには、プロスペクトが Pardot と Salesforce で同じ CRM ID を使用している必要があります。
- Pardot は同期対象として同じ CRM ID を検索します。プロスペクトが Salesforce レコードと同期していない場合、Pardot は同期対象のリードを作成します。
- プロスペクトレコードに CRM ID がなく、メールアドレスを持つレコードが Salesforce に存在する場合、Pardot はこのレコードと同期します。プロスペクトと同じメールアドレスを持つレコードが Salesforce に複数ある場合、Pardot は見つけた最初のレコードと同期します。

プロスペクトアクティビティおよびメールの同期

- ページビュー、フォーム完了、サイト検索、メールなど、Pardot アクティビティがプロスペクトの CRM レコードの [プロスペクトのアクティビティ] ウィンドウに表示されます。ただし、メールだけは CRM のアクティビティまたは ToDo として作成されます。
- Pardot プラグインを使用してリストメールや 1 対 1 のメールを送信すると、Pardot では CRM レコードのアクティビティセクションにメールのログが記録されます。
- メール同期はコネクタ設定で制御されます。

商談の同期

- 商談アクティビティは、デフォルトのスコアリングで使用されます (商談の作成はプラス 50 ポイント、商談の失注はマイナス 100 ポイント)。コネクタが有効な場合、それによってプロスペクトのスコアが更新されます。スコアの更新は、使用中のオートメーションルールやリードの割り当てルールに影響を及ぼす可能性があります。
- Salesforce で商談を使用しない場合、Pardot サポートが商談の同期を無効にできます。
- Salesforce に重複するレコードがある場合、アクティビティ iframe がすべてのレコードに表示されます。ただし、Pardot のデータ項目は Pardot が同期しているレコードにのみ表示されます。

同じメールアドレスで複数のプロスペクトを作成できるアカウント向けの考慮事項

Salesforce の同期で最も重要なことは、Pardot のプロスペクトと Salesforce のリード、取引先責任者、個人取引先の関係を 1 対 1 に対応付けることです。メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しているアカウントでは、Salesforce コネクタは双方向同期の一致条件として CRM ID を使用します。

特定のメールアドレスを持つリード、取引先責任者、または個人取引先が Salesforce に作成されると、一致する CRM ID を持つプロスペクトが Pardot に作成されます。各レコードのデータは、各項目で定義された同期動作に従って同期されます。プロスペクトが Pardot に作成されるのは、Salesforce コネクタユーザーに Salesforce のレコードへの権限がある場合のみです。

プロスペクトに CRM ID がなく、同じメールアドレスを持つ複数のレコードが Salesforce に存在する場合、プロスペクトは、最新のアクティビティを持つレコードと同期します。

プロスペクトが Pardot に作成され、同期開始の条件を満たす場合、コネクタの設定に従って Salesforce にレコードが作成されます。

メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しているアカウントでは、コネクタ設定が少なくなります。コネクタは新しいリード、取引先責任者、または個人取引先を見つけると、プロスペクトを作成し、これらのレコード間で変更を同期します。Salesforce でマージされたレコードや削除されたレコードを検出すると、該当する Pardot のプロスペクトを更新し、削除されたレコードを Pardot のごみ箱に送信します。

同期方法の選択

インテグレーションユーザーがコネクタユーザーとして設定されている場合、コネクタは Pardot と Salesforce の間で同期されるオブジェクトのすべてのレコードを同期します。レコードの一部を同期したい場合は、マーケティングデータ共有を使用して同期するレコードを選択します。含まれるインテグレーションユーザーを使用するか、独自のコネクタユーザーを設定してください。

マーケティングデータ共有を使用する場合は、独自のコネクタユーザーを設定するのではなく、インテグレーションユーザーを使用することをお勧めします。インテグレーションユーザーは、必要な権限が設定された状態で事前設定されており、追加ライセンスが要りません。

Pardot インテグレーションユーザー

Pardot インテグレーションユーザーは Salesforce に接続してデータを同期する、自動的にプロビジョニングされるユーザーです。Pardot はインテグレーションユーザーを介して Salesforce にログインできる唯一のアプリケーションです (ただし、Salesforce システム管理者が Pardot 設定を完了している場合のみ)。

コネクタユーザーを設定する

コネクタユーザーとは、データを同期するために Pardot と Salesforce を接続するように指定されたユーザーです。これらのタスクは、Pardot インテグレーションユーザーを使用していないアカウントにのみ適用されます。

Pardot インテグレーションユーザー

Pardot インテグレーションユーザーは Salesforce に接続してデータを同期する、自動的にプロビジョニングされるユーザーです。Pardot はインテグレーションユーザーを介して Salesforce にログインできる唯一のアプリケーションです (ただし、Salesforce システム管理者が Pardot 設定を完了している場合のみ)。

Pardot 接続アプリケーションはセキュアな認証方法を使用して、Salesforce に対して Pardot アプリケーションサーバーを認証します。接続アプリケーションには、Pardot に提供されたセキュアな鍵ペアの片方 (公開側) が含まれます。「[サーバー間インテグレーションの OAuth 2.0 JWT ベアラーフロー](#)」を参照してください。

インテグレーションユーザーに関する留意点を次にいくつか示します。

- 名前は「B2BMA インテグレーション」、ユーザー名は「b2bmaintegration@<org-id>.ext」です。プロフィールとインテグレーションユーザー名の両方に B2BMA が含まれますが、これらは B2B Marketing Analytics には関連しません。
- インテグレーションユーザーは、B2BMA インテグレーションユーザープロフィールと共にプロビジョニングされ、Pardot と Salesforce 間で同期されているデータの参照および変更権限をユーザーに付与します。
- 標準 Salesforce ユーザーライセンスを使用しません。
- パスワードがなく、Salesforce に直接ログインできません。
- Salesforce-Pardot インテグレーションの結果として実行された変更は、インテグレーションユーザーに関連付けられます。インテグレーションによる Salesforce オブジェクトへの更新と、ユーザーアクションによる Salesforce オブジェクトへの更新を容易に判別できます。
- インテグレーションユーザーは、Pardot の設定時にインストールされた Pardot インテグレーション接続アプリケーションを介して Salesforce に対する認証を行います。
- インテグレーションユーザーにはキャンペーンのアクセス権がありますが、Pardot マーケティングユーザーロールは必要ありません。

コネクターユーザーを設定する

コネクターユーザーとは、データを同期するために Pardot と Salesforce を接続するように指定されたユーザーです。これらのタスクは、Pardot インテグレーションユーザーを使用していないアカウントにのみ適用されます。

Pardot コネクターユーザー権限セットの割り当て

Pardot パッケージを Salesforce 組織にインストールしたら、コネクターユーザーに「Pardot コネクターユーザー」権限セットを付与します。

コネクターユーザーへのオブジェクト権限の割り当て

Salesforce のセキュリティ制限により、Salesforce 標準オブジェクトに対するコネクターユーザーの権限はシステム管理者が手動で設定する必要があります。これらのオブジェクトは、「Pardot コネクターユーザー」権限セットではカバーされません。このステップは、Salesforce-Pardot コネクター v1 を使用しているか、マーケティングデータ共有を使用しているアカウントにのみ適用されます。

Pardot コネクタユーザー権限セットの割り当て

Pardot パッケージを Salesforce 組織にインストールしたら、コネクタユーザーに「Pardot コネクタユーザー」権限セットを付与します。

 **メモ:** 「Pardot コネクタユーザー」権限セットは、Pardot コネクタユーザーにのみ適用してください。このページから Engage 権限セットを割り当てないでください。Engage 権限はライセンスページから割り当てます。

始める前に、コネクタユーザーに次の権限があることを確認します。

- API の有効化
 - 「プロファイルと権限セットの管理」
 - すべてのユーザーの参照
 - 設定・定義を参照する
- マーケティングの [設定] から、[クイック検索] ボックスに「ユーザー」と入力し、[ユーザー] を選択します。
 - コネクタユーザーを選択します。
 - [権限セットの割り当て] までスクロールして、[割り当ての編集] をクリックします。
 - [利用可能な権限セット] ボックスで、[Pardot コネクタユーザー] をクリックしてハイライトし、[追加] 矢印ボタンをクリックします。
 - ユーザーを保存します。

ユーザ権限

権限セットを割り当てる

- 「権限セットの割り当て」(Salesforce)

オブジェクト権限を編集する

- 「プロファイルと権限セットの管理」

および

- 「アプリケーションのカスタマイズ」(Salesforce)

コネクタユーザーへのオブジェクト権限の割り当て

Salesforce のセキュリティ制限により、Salesforce 標準オブジェクトに対するコネクタユーザーの権限はシステム管理者が手動で設定する必要があります。これらのオブジェクトは、「Pardot コネクタユーザー」権限セットではカバーされません。このステップは、Salesforce-Pardot コネクタ v1 を使用しているか、マーケティングデータ共有を使用しているアカウントにのみ適用されます。

 **メモ:** この権限を適用する方法は、ユーザーが自由に決定できます。権限についての詳細は、[ユーザー権限に関するドキュメント](#)を参照してください。

Pardot コネクタユーザーには、次の標準オブジェクトに対する次の権限が必要です。

オブジェクト名	オブジェクトの権限	項目の権限
Accounts	すべて表示	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Campaigns	作成、編集、参照、すべて表示	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
CampaignMember	作成、参照、編集	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Contacts	作成、編集、参照、すべて表示、すべて変更	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目

オブジェクト名	オブジェクトの権限	項目の権限
Leads	作成、編集、参照、すべて表示、すべて変更	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
ObjectChangeLogs	すべて表示、すべて変更	すべて
Opportunity	すべて表示	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Task	ToDo の編集	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目
Users	すべてのユーザーの参照	Pardot と同期するすべての標準およびカスタム項目

 **メモ:** コネクタユーザーには、「設定・定義を参照する」権限も設定することをお勧めします。この権限を使用すると、サポートがコネクタに関する問題をトラブルシューティングできます。

ステップ 1: パッケージをインストールして Pardot を有効化する

Salesforce と Pardot はプロスペクトおよび商談データを共有します。Salesforce システム管理者は Pardot AppExchange パッケージをインストールできます。2019 年 2 月 11 日以降に Pardot を購入した場合、パッケージは Salesforce から有効化してください。

Pardot AppExchange アプリケーションのインストール

Pardot で Salesforce コネクタを設定する前に、Pardot AppExchange パッケージを Salesforce 組織にインストールします。

Salesforce で Pardot を有効にする

Salesforce システム管理者は、新しい Pardot ビジネスユニットを有効にして、Pardot 管理者を任命する必要があります。複数の Pardot ビジネスユニットがある場合は、各ビジネスユニットに 1 人の Pardot 管理者を任命します。

Pardot で Salesforce-Pardot コネクタ (コネクタ v2) を設定および一時停止解除する

Salesforce-Pardot コネクタのバージョン 2 は、一時停止状態で作成されます。データの同期を開始するには、Pardot 管理者がコネクタを設定して、一時停止を解除する必要があります。

Pardot AppExchange アプリケーションのインストール

Pardot で Salesforce コネクタを設定する前に、Pardot AppExchange パッケージを Salesforce 組織にインストールします。

重要: パッケージを AppExchange から直接インストールしないでください。パッケージは次の手順に従ってインストールする必要があります。

1. [インストールリンク](#)にアクセスします。

このパッケージは、リードおよび取引先責任者の下位のカスタムアプリケーション、カスタムタブ、カスタム項目で、Salesforce 取引先を更新します。この項目を表示するには、ビューの変更が必要になる場合があります。

2. アクションを確認し、[インストール]をクリックします。
3. インストールウィザードのステップ2(セキュリティレベルの選択)で、[管理のみへのアクセスの許可]を選択します。

Salesforce で Pardot を有効にする

Salesforce システム管理者は、新しい Pardot ビジネスユニットを有効にして、Pardot 管理者を任命する必要があります。複数の Pardot ビジネスユニットがある場合は、各ビジネスユニットに 1 人の Pardot 管理者を任命します。

1. マーケティングの [設定] から、[Pardot 設定のホーム] で [管理者を割り当て] をクリックします。
2. ビジネスユニットに名前を付け、Pardot 管理者を割り当てます。複数のビジネスユニットを使用している場合、一度に 1 つずつビジネスユニットを設定することをお勧めします。
3. 変更を保存します。保存後、各システム管理者にビジネスユニットの設定プロセスを開始するよう指示するメールが Pardot から送信されます。
4. マーケティングの [設定] から、[Pardot 設定のホーム] で Salesforce 組織の Pardot を有効にして Pardot Lightning アプリケーションを Pardot 管理者のみが使用できるようにします。

プロビジョニングと管理者の割り当てが完了したら、Pardot 管理者に連絡して、割り当てられたビジネスユニットを設定するように指示するメールが届いていることを確認します。Pardot 管理者と緊密に連携して主要な Pardot 設定作業 (Salesforce ユーザーの同期の設定など) を完了します。

Pardot で Salesforce-Pardot コネクタ (コネクタ v2) を設定および一時停止解除する

Salesforce-Pardot コネクタのバージョン 2 は、一時停止状態で作成されます。

データの同期を開始するには、Pardot 管理者がコネクタを設定して、一時停止を解除する必要があります。

1. [Salesforce コネクタ] ページを開きます。

ユーザ権限

Pardot パッケージをインストールする

- 「AppExchange パッケージのダウンロード」 (Salesforce 内)

エディション

使用可能なエディション:
2019 年 2 月 11 日以降に購入されたすべての Pardot エディション。Pardot ビジネスユニットは、Pardot **Advanced Edition** でご利用いただけます。

ユーザ権限

組織で Pardot を有効にする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」および「すべてのデータの編集」

Pardot ビジネスユニットを作成する

- 「アプリケーションのカスタマイズ」および「すべてのデータの編集」

- Pardot で、[管理]、[コネクタ]の順に選択します。Salesforce コネクタの横にある  をクリックし、[編集] をクリックします。
- Lightning アプリケーションで、[Pardot 設定]、[コネクタ]の順に選択します。Salesforce コネクタの横にある  をクリックし、[設定を編集] を選択します。

2. コネクタ設定を確認します。

3. 同期を開始するには、 アイコンをクリックして [一時停止を解除] を選択します。

- 📌 **メモ:** コネクタは同期にインテグレーションユーザーを使用します。レコードを選択的に同期する場合は、一時停止を解除する前に、適切な権限を持ったユーザーにコネクタユーザーを変更するか、マーケティングデータ共有を設定します。

ステップ 2: Salesforce-Pardot コネクタに関する Salesforce の設定を行う

設定中に Salesforce システム管理者は、カスタム項目のマッピング、ページレイアウトへの Pardot コンポーネントの追加、ユーザーへの Pardot データアクセス権の付与ができます。

取引先責任者項目への Pardot のカスタムリード項目のマッピング

Salesforce の項目をマッピングすると、変換時にすべての Pardot データがリードレコードから取引先責任者レコードに確実に取り込まれます。

Salesforce での Pardot データの表示

AppExchange アプリケーションでは、Pardot 項目と Visualforce ページが追加されますが、それらは表示されません。Salesforce で Pardot 項目と Visualforce ページを表示するには、それらを Salesforce のリードおよび取引先責任者のページレイアウトに追加します。

Salesforce ページレイアウトへのカスタム Pardot ボタンの追加

[Pardot に送信] ボタンを使用すると、Salesforce のリードや取引先責任者を Pardot に簡単に追加できます。対応するレコードが存在する場合、このボタンを使用すると、プロスペクトが作成される代わりにレコードが同期されます。[Pardot メールを送信] ボタンを使用すると、Pardot 権限セットが割り当てられた Salesforce ユーザーは、Pardot の追跡メールを Salesforce から送信できます。

Salesforce への Pardot 標準アクションの追加

リストビューおよび特定のレコードページで Pardot ボタンおよびアクションを標準アクションとして Salesforce に追加します。クイックアクションレコードボタンは本番組織でのみサポートされ、Salesforce Sandbox ではサポートされません。

ページレイアウトへのスコアリングカテゴリのスコアの追加

Pardot アカウントでスコアリングカテゴリを使用している場合、リードと取引先責任者のページレイアウトにスコアを追加できます。

Salesforce で Pardot データへのアクセス権をユーザーに付与

AppExchange パッケージに付属する Pardot 権限セットを、Salesforce で Pardot データにアクセスまたは使用する任意のユーザーに適用します。

取引先責任者項目への Pardot のカスタムリード項目のマッピング

Salesforce の項目をマッピングすると、変換時にすべての Pardot データがリードレコードから取引先責任者レコードに確実に取り込まれます。

❗ 重要: Pardot URL リード項目と Pardot URL 取引先責任者項目をマッピングしないでください。これらの項目を相互にマッピングすると、重複するプロスペクトが作成され、Visualforce ページが壊れます。

1. リードのオブジェクト管理設定に移動します。
2. [リードカスタム項目 & リレーション] セクションで、[リード項目を対応付け] をクリックします。
3. [取引先責任者] タブをクリックし、項目をマッピングします。
4. 完了したら保存します。

ユーザ権限

リード項目を対応付ける

- 「アプリケーションのカスタマイズ」
(Salesforce)

Salesforce での Pardot データの表示

AppExchange アプリケーションでは、Pardot 項目と Visualforce ページが追加されますが、それらは表示されません。Salesforce で Pardot 項目と Visualforce ページを表示するには、それらを Salesforce のリードおよび取引先責任者のページレイアウトに追加します。

1. リードまたは取引先責任者のページレイアウトを編集用に開きます。
 2. Pardot カスタム項目をページレイアウトに追加します。
 - a. セクションをレイアウトに追加します。
 - b. セクションに名前を付けます。
 - c. [2 列] を選択し、[OK] をクリックします。
 - d. ドラッグアンドドロップエディタの [項目] セクションに戻り、右にスクロールして Pardot カスタム項目を見つけます。
 - e. すべての Pardot カスタム項目を新しいセクションにドラッグします。
 - f. (省略可能) Google Analytics 項目をセクションにドラッグします。
 3. Pardot アクティビティとリストメンバーシップをレイアウトに追加します。
 - a. セクションをレイアウトに追加します。
 - b. セクションに名前を付けます。
 - c. [1 列] を選択し、[OK] をクリックします。
 - d. エディターで [Visualforce ページ] セクションまでスクロールします。
 - e. [Pardot アクティビティ]、[Pardot リストメンバーシップ]、および [Pardot ソーシャルデータ] を新しいセクションにドラッグします。
 4. 完了したらレイアウトを保存します。
- リードと取引先責任者のページレイアウトに対して、これらのステップを繰り返します。

ユーザ権限

ページレイアウトをカスタマイズする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」
(Salesforce)

Salesforce ページレイアウトへのカスタム Pardot ボタンの追加

[Pardot に送信] ボタンを使用すると、Salesforce のリードや取引先責任者を Pardot に簡単に追加できます。対応するレコードが存在する場合、このボタンを使用すると、プロスペクトが作成される代わりにレコードが同期されます。[Pardot メールを送信] ボタンを使用すると、Pardot 権限セットが割り当てられた Salesforce ユーザーは、Pardot の追跡メールを Salesforce から送信できます。

 **メモ:** [Pardot に送信] を使用するには、ユーザーの SSO が有効になっている必要があります。

1. リードまたは取引先責任者のページレイアウトを編集用を開きます。
2. パレットで、[ボタン] カテゴリ (Classic) または [モバイルおよび Lightning のアクション] (Lightning Experience) まですクロールします。
3. [Pardot に送信] ボタンと [Pardot メールを送信] ボタンを選択して [カスタムボタン] ボックスにドラッグします (Classic)。このボタンを Lightning Experience に追加するには、ボタンを [Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション] セクションにドラッグします。
4. 完了したらページレイアウトを保存します。

リードと取引先責任者のページレイアウトに対して、これらのステップを繰り返します。

ユーザ権限

ページレイアウトをカスタマイズする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」 (Salesforce)

Salesforce への Pardot 標準アクションの追加

リストビューおよび特定のレコードページで Pardot ボタンおよびアクションを標準アクションとして Salesforce に追加します。クイックアクションレコードボタンは本番組織でのみサポートされ、Salesforce Sandbox ではサポートされません。

リードや取引先責任者オブジェクトなどの標準オブジェクトの [ページレイアウト] で Salesforce のレコードページにアクションを追加します。アクションをリストビューに追加するには、適切なオブジェクトの管理設定から検索レイアウトをカスタマイズします。

ユーザ権限

カスタムボタンを作成する

- 「アプリケーションのカスタマイズ」

アクション	Salesforce での可用性
-------	------------------

Pardot リストに追加	オブジェクトページレイアウト
---------------	----------------

- Lead (リード)
- Contact (取引先責任者)

リストビューオブジェクト

- Lead (リード)
- Contact (取引先責任者)

Engagement Studio リストに追加	オブジェクトページレイアウト
--------------------------	----------------

- Lead (リード)
- Contact (取引先責任者)

リストビューオブジェクト

アクション Salesforce での可用性

- Lead (リード)
- Contact (取引先責任者)

ページレイアウトへのスコアリングカテゴリのスコアの追加

Pardot アカウントでスコアリングカテゴリを使用している場合、リードと取引先責任者のページレイアウトにスコアを追加できます。

1. リードまたは取引先責任者のページレイアウトを編集用を開きます。
2. エディターで [関連リスト] をクリックします。
3. [Pardot Category Score (Pardot カテゴリスコア)] をレイアウトにドラッグします。
4. (省略可能) [スコアリングカテゴリ名]、[スコア]、および [最終更新日] のみを含め、スコアを降順に並べ替えるように [Pardot カテゴリスコア] プロパティを編集します。

エディション

使用可能なエディション:
Pardot **Plus** Edition、
Advanced Edition、
Premium Edition

ユーザ権限

ページレイアウトをカスタマイズする

- 「アプリケーションのカスタマイズ」 (Salesforce)

Salesforce で Pardot データへのアクセス権をユーザーに付与

AppExchange パッケージに付属する Pardot 権限セットを、Salesforce で Pardot データにアクセスまたは使用する任意のユーザーに適用します。

 **メモ:** このページから Engage 権限セットを割り当てないでください。Engage 権限はライセンスページから割り当てます。

1. マーケティングの [設定] から、[クイック検索] ボックスに 「権限セット」と入力し、[権限セット] を選択します。
2. [Pardot] をクリックします。
3. [割り当ての管理] をクリックします。
4. [割り当てを追加] をクリックします。
5. 権限セットの割り当て先のユーザーを選択します。
6. [割り当て] をクリックします。

ユーザ権限

権限セットを割り当てる

- 「権限セットの割り当て」 (Salesforce)

ステップ 3: Pardot を設定する

Pardot 管理者は、カスタム項目とユーザーのマッピング、コネクターのテスト、プロスペクトの初回同期を行うことができます。

Salesforce と Pardot のカスタム項目のマッピング

Pardot 管理者は、プロスペクトと取引先のカスタム項目をマッピングし、それらの項目を Pardot と Salesforce 間で同期できます。

Pardot と Salesforce ユーザーの接続

Salesforce ユーザーを Pardot ユーザーに関連付けて、割り当てとアクションを適切なユーザーに関連付けることができます。手動でユーザーをマッピングして SSO を設定するか、Salesforce ユーザーの同期を使用して Salesforce からユーザーを作成して管理できます。

Salesforce-Pardot コネクターのテスト

Salesforce-Pardot コネクタを設定したら、テストして、コネクタが期待どおりに同期することを確認します。

プロスペクトの初回同期のトリガー

Salesforce と Pardot を接続したら、既存のリードと取引先責任者を Pardot にインポートします。コネクタは Salesforce の既存のリードと取引先責任者から Pardot のプロスペクトを自動的に作成しません。インポート時に、Pardot はプロスペクトレコードを Salesforce の既存のリードまたは取引先責任者レコードと同期します。以降、どちらかのシステムのレコードが更新されると、その更新は自動的に同期されます。

Salesforce と Pardot のカスタム項目のマッピング

Pardot 管理者は、プロスペクトと取引先のカスタム項目をマッピングし、それらの項目を Pardot と Salesforce 間で同期できます。

 **メモ:** Pardot と Salesforce のカスタム項目をマッピングするには、対応するカスタム項目を Pardot 内で作成する必要があります。

項目をマッピングするときは、次の考慮事項を念頭に置いてください。

- Salesforce 項目が Pardot 項目にすでにマッピングされている場合、その項目はドロップダウンに表示されません。
 - カスタム項目マッピングでは大文字と小文字が区別されます。
 - リードオブジェクトと取引先責任者オブジェクトのカスタム項目を同じ Pardot 項目にマッピングするには、Salesforce 項目の API 参照名が同じである必要があります。
 - Pardot 項目は Salesforce の参照項目または地理位置情報項目の種別と同期しません。
 - Pardot の数値型項目を Salesforce の電話型項目に同期しないでください。電話項目には数値以外の文字が含まれ、Pardot と正しく同期しません。代わりに、Salesforce の電話型項目を Pardot のテキスト型項目にマッピングします。
1. Pardot で、カスタム項目を編集用を開きます。
 2. [Salesforce 項目名] ドロップダウンから、マッピングする項目を選択します。
 3. (省略可能)[この項目のデータ型および可能性のある値(ドロップダウン、ラジオボタン、チェックボックス)を CRM と同期します]を有効にします。この設定により、項目設定の変更が Salesforce から Pardot に同期されます。
 4. (省略可能)同期動作を編集します。

同期するカスタム項目ごとに、この手順を繰り返します。

ユーザ権限

項目をマッピングする

- Pardot の管理者ロール

 **メモ:** Pardot カスタム項目を Salesforce 項目と同期しても、CRM との同期はトリガーされません。

Pardot と Salesforce ユーザーの接続

Salesforce ユーザーを Pardot ユーザーに関連付けて、割り当てとアクションを適切なユーザーに関連付けることができます。手動でユーザーをマッピングして SSO を設定するか、Salesforce ユーザーの同期を使用して Salesforce からユーザーを作成して管理できます。

Salesforce を使用したユーザーの管理

Salesforce ユーザーの同期によって、Salesforce と Pardot の両方を使用するユーザーを効率的に管理できます。最初に、Salesforce ユーザーを割り当てて、接続されている Pardot ユーザーを作成します。Salesforce ユーザーの同期を有効にするか管理を Salesforce に移行したら、すべてのユーザーを Salesforce で管理します。両方のシステムでユーザーレコードを更新する必要はありません。

手動でのユーザーのマッピング

ユーザーが Pardot にアクセスするためには、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にする必要があります。CRM ユーザー名を Pardot ユーザーに関連付け、Pardot と Salesforce 間の SSO を有効にします。

ユーザ権限

ユーザー名をマッピングし、SSO を有効化する

- Pardot の管理者ロール

Salesforce ユーザーの同期を有効化する

- Pardot の管理者ロール

Salesforce を使用したユーザーの管理

Salesforce ユーザーの同期によって、Salesforce と Pardot の両方を使用するユーザーを効率的に管理できます。最初に、Salesforce ユーザーを割り当てて、接続されている Pardot ユーザーを作成します。Salesforce ユーザーの同期を有効にするか管理を Salesforce に移行したら、すべてのユーザーを Salesforce で管理します。両方のシステムでユーザーレコードを更新する必要はありません。

 **ヒント:** 簡単なナビゲーションと役に立つ実装のヒントについては、『[ユーザー同期実装ガイド \(PDF\)](#)』を参照してください。

Salesforce を使用したユーザーの管理に関する考慮事項

Salesforce ユーザーの同期を有効にして Salesforce を使用したユーザーの管理を開始する前に、次の考慮事項を念頭に置いてください。

Salesforce ユーザーの同期を有効化

Salesforce から Pardot ユーザーを作成するには、Pardot システム管理者が Salesforce ユーザーの同期を有効にするか、ユーザー管理を Salesforce に付与する必要があります。

Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

エディション

使用可能なエディション:
すべての Pardot エディション

プロフィールとロールのマッピングの更新

Pardot 管理者はプロフィールとユーザーロールのマッピングを変更して、割り当て済み Pardot ユーザーに付与されるロールを更新できます。

Salesforce を使用したユーザーの管理に関する考慮事項

Salesforce ユーザーの同期を有効にして Salesforce を使用したユーザーの管理を開始する前に、次の考慮事項を念頭に置いてください。

Salesforce ユーザーの同期の有効化に関する一般的な考慮事項

-  **メモ:** Pardot アカウントまたはビジネスユニットが Summer '20 リリースより後に作成されている場合、Salesforce ユーザーの同期はデフォルトですでに有効になっています。Salesforce ユーザーの同期がすでに有効になっているかどうかを確認するには、Pardot アカウント設定を確認してください。Salesforce からユーザーを割り当てたら、それ以上のアクションは必要ありません。詳細については、「Pardot への Salesforce ユーザーの割り当て」を参照してください。
- Salesforce ユーザーの同期は、Summer '20 リリースより後に新規作成されたビジネスユニットおよびアカウントではデフォルトで有効になっています。
- 検証済みの Salesforce-Pardot コネクタが必要です。
- ビジネスユニットを切り替えるには、検証済みの Salesforce-Pardot v2 コネクタがあり、ユーザーの同期を有効にしている必要があります。
- Salesforce ユーザーの同期は、有効にした後に無効にすることはできません。
- ユーザーの作成および削除に関する問題を回避するには、Salesforce ユーザーの同期を有効にする前に Salesforce からユーザーを割り当てます。
-  **重要:** この機能を有効にするときは、本番環境でテストしないでください。CRM ユーザーに接続されているが Salesforce から割り当てられていない Pardot ユーザーは、Salesforce ユーザーの同期を有効にしたときにアーカイブされます。
- 重複の作成を回避するために、割り当てられたユーザーが Pardot でアーカイブされている場合、ごみ箱から削除されて同期されます。
- 通常、ユーザーレコードへの変更は 10 分以内に同期されます。数万のユーザーを持つアカウントの場合、同期に 1 時間かかる可能性があります。
- 場合によって、割り当てられたユーザーの CRM データへのアクセスレベルが Salesforce と Pardot で異なることもあります。管理者は、マーケティングデータ共有条件に一致する Salesforce 共有ルールを手動で作成してこれらの共有ルールを Pardot マーケティングユーザーグループに適用することで、権限を同等にできます。たとえば、ビジネスユニット A でリードのマーケティングデータ共有条件が「Region__c=United States」の場合、そのリードオブジェクトの Salesforce 共有ルールを「Region__c = United States」にします。その共有ルールをビジネスユニット A の Pardot マーケティングユーザーグループに適用します。

ユーザー管理

- Salesforce システム管理者は、Pardot に割り当てるユーザーを選択できます。Salesforce ユーザーがマーケティングの [設定] から割り当てられると、そのユーザーが Pardot に作成されます。

- 同期済みユーザーは、許可される IP 範囲やログイン時間の制限など、すべての Salesforce ログイン制限に従います。
- URL、HTML メール署名、テキストメール署名、ロール、タグなど、一部の Pardot ユーザー項目は Salesforce に同期されません。これらの項目は Pardot で編集できます。他のすべてのユーザー項目は Salesforce で編集します。
- Salesforce ユーザーの同期を有効にしたら、Pardot でユーザーをインポートすることはできません。代わりに、Salesforce からユーザーのインポートと同期を行います。
- 新しい同期済みユーザーの Pardot メール通知は無効になっています。ユーザーまたは Pardot 管理者は Pardot でメール通知を手動で有効にできます。
- 同期済みユーザーの Salesforce 言語が日本語、フランス語、ドイツ語、またはスペイン語に設定されている場合、Pardot 言語がその言語を反映して更新されます。ユーザーは Pardot ユーザー設定でこの設定を変更できます。

Salesforce ユーザーの同期を有効化

Salesforce から Pardot ユーザーを作成するには、Pardot システム管理者が Salesforce ユーザーの同期を有効にするか、ユーザー管理を Salesforce に付与する必要があります。

ユーザ権限

Salesforce ユーザーの同期を有効化する

- Pardotの管理者ロール

 **メモ:** Pardot アカウントまたはビジネスユニットが Summer '20 リリースより後に作成されている場合、Salesforce ユーザーの同期はデフォルトですでに有効になっています。Salesforce ユーザーの同期がすでに有効になっているかどうかを確認するには、Pardot アカウント設定を確認してください。Salesforce からユーザーを割り当てたら、それ以上のアクションは必要ありません。詳細については、「Pardot への Salesforce ユーザーの割り当て」を参照してください。

 **重要:** この機能を有効にする前に、次の前提条件を確認してください。

- 検証済みの Salesforce コネクタが必要です。また、コネクタユーザーに、必要な権限が設定されている必要があります。「[Pardot と Salesforce の接続](#)」を参照してください。
- Salesforce ユーザーの同期を有効にする前に Salesforce でユーザーを割り当てます。
- Pardot ユーザーを監査して、ユーザーが適切な CRM ユーザー名にリンクされていることを確認します。Salesforce ユーザーの同期を有効にした後、ユーザーをリンク解除することはできません。

1. [ユーザー] ページを開きます。[管理] (Lightning アプリケーションでは [Pardot の設定]) を選択し、[ユーザ管理] > [ユーザ] を選択します。
2. [Salesforce ユーザーの同期を有効化] をクリックします。
3. 画面上のメッセージに従います。
4. Salesforce プロファイルを Pardot ユーザーロールにマッピングします。選択されたプロファイルを持つすべての割り当て済み Salesforce ユーザーが、割り当てられた Pardot ロールを持つ Pardot ユーザーとして作成されます。
5. 設定を確認します。
6. プロファイルのマッピングが完了したら、[ユーザーの同期を有効化] をクリックします。

通常、ユーザーは 10 分以内に作成されます。数万のユーザーを持つアカウントの場合、作成に 1 時間かかる可能性があります。

Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

 **メモ:** 開始する前に、必ずマッピングする Pardot ユーザーと Salesforce ユーザーを作成しておいてください。

1. Pardot ユーザーレコードを編集用に開きます。
 2. [CRM ユーザー名] ドロップダウンから Salesforce ユーザーを選択します。
 3. ユーザーを保存します。
 4. ユーザーレコードの [CRM ユーザー] 行で [今すぐ検証] リンクをクリックします。
- マッピングするユーザーごとに、この手順を繰り返します。

プロフィールとロールのマッピングの更新

Pardot 管理者はプロフィールとユーザーロールのマッピングを変更して、割り当て済み Pardot ユーザーに付与されるロールを更新できます。

1. [コネクター] ページを開きます。
 - Pardot で、[管理]、[コネクター] の順に選択します。
 - Lightning アプリケーションで、[Pardot 設定]、[コネクター] の順に選択します。
2. Salesforce コネクターの横にある  をクリックし、[編集] をクリックします。
3. Pardot Lightning アプリケーションで、[ユーザーの同期] タブをクリックします。Pardot で [Salesforce ユーザーの同期] に移動します。
4. ドロップダウンを使用して Salesforce プロファイルを Pardot ロールにマッピングします。
5. 完了したらコネクターを保存します。

ユーザ権限

Salesforce ユーザーの同期
のマッピングを編集する

- Pardot の管理者ロール

プロフィールのマッピングを更新すると、10 分以内に Salesforce プロファイルを持つすべての割り当て済み Pardot ユーザーに新しいロールが付与されます。通常、ユーザーは 10 分以内に同期されます。数万のユーザーを持つアカウントの場合、作成に 1 時間かかる可能性があります。

手動でのユーザーのマッピング

ユーザーが Pardot にアクセスするためには、Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にする必要があります。CRM ユーザー名を Pardot ユーザーに関連付け、Pardot と Salesforce 間の SSO を有効にします。

Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

Salesforce および Pardot の SSO の設定

Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、ユーザーが Pardot にアクセスするには Salesforce シングルサインオン (SSO) が必要です。SSO により、ユーザーはアプリケーションランチャーや各自の Salesforce ログイン情報を使用して Salesforce と Pardot 間を移行できます。

Salesforce と Pardot のユーザー名のマッピング

すべての Pardot ユーザーを関連付けられた Salesforce ユーザーレコードにマップします。その後、Salesforce ユーザーの同期により同期済みユーザーに変換されます。Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、手動でユーザーの Salesforce シングルサインオン (SSO) を有効にできます。

 **メモ:** 開始する前に、必ずマッピングする Pardot ユーザーと Salesforce ユーザーを作成しておいてください。

1. Pardot ユーザーレコードを編集用を開きます。
2. [CRM ユーザー名] ドロップダウンから Salesforce ユーザーを選択します。
3. ユーザーを保存します。
4. ユーザーレコードの [CRM ユーザー] 行で [今すぐ検証] リンクをクリックします。

マッピングするユーザーごとに、この手順を繰り返します。

Salesforce および Pardot の SSO の設定

Salesforce ユーザーの同期を使用しない場合、ユーザーが Pardot にアクセスするには Salesforce シングルサインオン (SSO) が必要です。SSO により、ユーザーはアプリケーションランチャーや各自の Salesforce ログイン情報を使用して Salesforce と Pardot 間を移行できます。

 **メモ:** Pardot ユーザーの管理を合理化するために、Salesforce ユーザーの同期を設定することを強くお勧めします。

1. [ユーザー] ページを開きます。[管理] (Lightning アプリケーションでは [Pardot の設定]) を選択し、[ユーザ管理] > [ユーザ] を選択します。
2. SSO を有効にするユーザーを選択します。
3. テーブルの下側のドロップダウンから、[Salesforce シングルサインオンを有効化] を選択します。

SSO を有効にすると、ユーザーは各自の Salesforce ログイン情報や Pardot Lightning アプリケーションを使用して Pardot にアクセスできます。

Salesforce-Pardot コネクターのテスト

Salesforce-Pardot コネクターを設定したら、テストして、コネクターが期待どおりに同期することを確認します。

メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可しないアカウントのテスト

1. 新しい Pardot プロスペクト (既存の Salesforce レコードあり) — CRM に存在するプロスペクトレコードを Pardot 内に作成します。レコードが同期するかどうかを確認するには、[CRM と同期] をクリックするか、10 ～ 15 分待って、コネクタが同期を開始するかどうかを確認します。
2. 新しい Pardot プロスペクト (新しい Salesforce レコード) — 存在していない Salesforce レコードのメールアドレスを使用して Pardot 内にプロスペクトレコードを作成します。同じメールアドレスを使用して Salesforce 内にレコードを追加します。レコードが同期するかどうかを確認するには、[CRM と同期] をクリックするか、10 ～ 15 分待って、コネクタが同期を開始するかどうかを確認します。
3. Pardot 内でプロスペクトを割り当てる — Salesforce に存在していないメールアドレスを使用して Pardot 内にプロスペクトを作成し、そのプロスペクトをユーザーに割り当てます。レコードが Salesforce 内に作成されるかどうかを確認します。
4. 新しい CRM レコードからのプロスペクトの自動作成 — Salesforce でレコードが追加されたときに Pardot でプロスペクトを作成するようにコネクタを設定している場合、Pardot に存在しないメールアドレスを使用して Salesforce レコードを作成します。Pardot に新しいレコードがあるかどうかを確認します。

メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可するアカウントのテスト

1. Pardot 内でプロスペクトを割り当てる — Pardot 内にプロスペクトを作成し、そのプロスペクトをユーザーに割り当てます。レコードが Salesforce 内に作成されるかどうかを確認します。
2. Salesforce 内にレコードを作成する — Salesforce レコードを作成します。レコードが同期されるまで待つか、[Pardot に送信] をクリックして手動で同期します。レコードが Pardot 内に作成されるかどうかを確認します。

プロスペクトの初回同期のトリガー

Salesforce と Pardot を接続したら、既存のリードと取引先責任者を Pardot にインポートします。コネクタは Salesforce の既存のリードと取引先責任者から Pardot のプロスペクトを自動的に作成しません。インポート時に、Pardot はプロスペクトレコードを Salesforce の既存のリードまたは取引先責任者レコードと同期します。以降、どちらかのシステムのレコードが更新されると、その更新は自動的に同期されます。

-  **メモ:** メールアドレスが同一の複数のプロスペクトを許可するアカウントの場合、CRM ID を使用してインポートし、リードと取引先責任者をプロスペクトと照合する必要があります。CRM ID ではなくメールアドレスでプロスペクトをインポートすると、Salesforce でリードや取引先担当者が重複して作成されてしまいます。